

平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月10日

上場会社名 帝国通信工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6763 URL http://www.noble-j.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 一柳 和夫
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員IR・経理管掌 (氏名) 小田切 純夫 (TEL) 044-422-3831
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	2,922	△15.1	235	56.1	△86	—	△111	—
28年3月期第1四半期	3,442	14.8	150	323.9	287	445.1	103	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △635百万円(—%) 28年3月期第1四半期 147百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	△2.28	—
28年3月期第1四半期	2.12	2.12

(注) 平成28年3月期第1四半期の親会社株主に帰属する四半期純利益の対前年同四半期増減率は、1,000%を超えているため「—」と記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	23,123	19,421	82.4
28年3月期	24,174	20,236	81.9

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 19,044百万円 28年3月期 19,800百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,500	△9.0	300	△6.4	400	△12.8	300	21.3	6.12
通期	13,000	△8.4	500	△28.3	700	△6.2	500	7.6	10.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	50,709,167株	28年3月期	50,709,167株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	1,725,982株	28年3月期	1,725,782株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	48,983,335株	28年3月期1Q	48,928,537株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は現在入手可能な情報及び合理的に判断した予想であり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、予想に関する事項は、添付資料P. 3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	10
製品別販売実績	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、米国では景気の回復が続き堅調に推移しましたが、英国のEU離脱選択の国民投票結果を受けてEU内部はもとより世界経済に衝撃を与え、不透明感が増大しました。中国や新興国経済の減速も続いているため全体としては厳しい状況にあると言えます。日本経済もEU離脱ショックによる急激な円高に見舞われて、企業業績の悪化が懸念されております。

当社グループの属するエレクトロニクス業界では、市場を牽引してきたスマートフォンが市場の成熟と変化により競争の激化が進みましたが、自動車電装はグローバルには堅調に推移しております。

当社グループは、引き続きコスト削減と原価低減による収益改善に努めました。また国内外で新しいマーケットの開拓と拡販にも努めました。

急激な円高の影響を受けた結果、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は29億22百万円（前年同期比15.1%減）となりました。営業利益は退職給付信託一部解約による退職給付費用の減少などにより2億35百万円（前年同期比56.1%増）、為替差損が発生したため経常損失は86百万円（前年同期は2億87百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億11百万円（前年同期は1億3百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①電子部品

前面操作ブロック（ICB）製品は、自動車電装を除きデジタルカメラ向けなどが低調でした。

可変抵抗器は総じて低迷しました。固定抵抗器は給湯器向けが好調でした。その他ではゲーム機用スイッチシートが好調でした。

この結果、電子部品の売上高は28億55百万円（前年同期比16.5%減）となり、営業利益は2億42百万円（前年同期比37.0%増）となりました。

当事業の地域別の業績は次のとおりであります。

a. 日本

デジタルカメラ向けやヘルスケア向けが減少しましたが、自動車電装向けが好調でした。

この結果、売上高は12億55百万円（前年同期比4.3%増）、営業利益は1億92百万円（前年同期比293.7%増）となりました。

b. アジア

ゲーム機向けスイッチシートや中国の給湯器向け固定抵抗器が好調でしたが、デジカメ向け前面操作ブロックやミュージックやプロ用オーディオ向け可変抵抗器が減少しました。

この結果、売上高は14億94百万円（前年同期比29.5%減）、営業利益は77百万円（前年同期比48.9%減）となりました。

c. 北米

テレビ向け前面操作ブロックや自動車電装向けが引き続き好調でした。

この結果、売上高は1億5百万円（前年同期比8.3%増）、営業損失は2百万円（前年同期は2百万円の営業利益）となりました。

②その他

機械設備の製造販売は、内外の厳しい環境の中で受注確保に努めました。

この結果、その他の売上高は67百万円（前年同期比210.8%増）、営業損失は12百万円（前年同期は31百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産が前連結会計年度末に比べ10億51百万円減少し231億23百万円となりました。その内訳は、流動資産が2億54百万円減少し153億0百万円、固定資産が7億97百万円減少し78億23百万円となりました。

負債は前連結会計年度末に比べ2億35百万円減少し37億2百万円となりました。その内訳は、流動負債が29百万円減少し24億6百万円、固定負債が2億5百万円減少し12億96百万円となりました。

これらの結果、純資産は前連結会計年度末に比べ8億15百万円減少し194億21百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末の81.9%から82.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

引き続き先行きが不透明な経済状況が予想されますが、平成29年3月期の業績予想に関しては、平成28年5月13日に公表いたしました見通しに変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額はありません。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,733,530	9,787,064
受取手形及び売掛金	2,714,693	2,349,048
電子記録債権	559,437	559,490
商品及び製品	1,094,775	1,130,217
仕掛品	409,862	484,495
原材料及び貯蔵品	555,769	503,973
その他	491,160	488,587
貸倒引当金	△4,947	△2,800
流動資産合計	15,554,282	15,300,077
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,882,045	1,804,002
機械装置及び運搬具(純額)	1,272,729	1,148,004
その他(純額)	775,737	750,379
有形固定資産合計	3,930,511	3,702,386
無形固定資産	207,257	197,971
投資その他の資産		
投資有価証券	1,740,436	1,599,285
その他	2,820,772	2,398,309
貸倒引当金	△78,489	△74,604
投資その他の資産合計	4,482,719	3,922,990
固定資産合計	8,620,488	7,823,348
資産合計	24,174,771	23,123,426
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	680,155	654,808
電子記録債務	406,076	421,059
短期借入金	80,380	89,539
未払法人税等	65,827	49,262
賞与引当金	296,201	168,229
その他	907,681	1,023,446
流動負債合計	2,436,323	2,406,347
固定負債		
退職給付に係る負債	283,148	178,321
その他	1,218,564	1,117,713
固定負債合計	1,501,712	1,296,035
負債合計	3,938,036	3,702,382

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,453,078	3,453,078
資本剰余金	5,456,313	5,456,313
利益剰余金	11,193,743	10,935,099
自己株式	△852,979	△853,007
株主資本合計	19,250,156	18,991,483
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	491,042	386,635
為替換算調整勘定	△412,928	△678,366
退職給付に係る調整累計額	471,876	344,736
その他の包括利益累計額合計	549,989	53,005
新株予約権	9,733	12,978
非支配株主持分	426,855	363,577
純資産合計	20,236,735	19,421,043
負債純資産合計	24,174,771	23,123,426

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	3,442,617	2,922,862
売上原価	2,345,492	1,931,260
売上総利益	1,097,124	991,602
販売費及び一般管理費	946,373	756,266
営業利益	150,751	235,335
営業外収益		
受取利息	9,620	9,624
受取配当金	20,756	24,317
受取賃貸料	21,615	22,176
為替差益	86,113	—
その他	20,003	18,543
営業外収益合計	158,109	74,661
営業外費用		
支払利息	452	297
投資有価証券評価損	7,549	—
固定資産賃貸費用	8,835	10,286
為替差損	—	371,559
その他	4,063	14,543
営業外費用合計	20,900	396,687
経常利益又は経常損失(△)	287,960	△86,690
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	287,960	△86,690
法人税等	173,831	16,258
四半期純利益又は四半期純損失(△)	114,129	△102,948
非支配株主に帰属する四半期純利益	10,327	8,745
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	103,801	△111,694

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	114,129	△102,948
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	61,178	△105,085
為替換算調整勘定	55,454	△300,269
退職給付に係る調整額	△83,476	△127,488
その他の包括利益合計	33,156	△532,843
四半期包括利益	147,285	△635,792
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	126,416	△608,678
非支配株主に係る四半期包括利益	20,868	△27,113

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注)3
	電子部品 (千円) (注)1	その他 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	3,421,004	21,612	3,442,617	—	3,442,617
セグメント間の内部売上高 又は振替高	650	52,553	53,204	△53,204	—
計	3,421,655	74,166	3,495,821	△53,204	3,442,617
セグメント利益又は損失(△)	177,110	△31,355	145,754	4,996	150,751

(注) 1. 電子部品の地域別の内訳は下記のとおりであります。

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	調整額 (千円)	電子部品合計 (千円)
売上高						
外部顧客への売上高	1,203,582	2,119,848	97,573	3,421,004	—	3,421,004
地域間の内部売上高 又は振替高	1,553,520	1,578,588	—	3,132,108	△3,131,458	650
計	2,757,103	3,698,437	97,573	6,553,113	△3,131,458	3,421,655
地域別利益	48,782	151,259	2,663	202,705	△25,594	177,110

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注) 3
	電子部品 (千円) (注) 1	その他 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	2,855,695	67,166	2,922,862	—	2,922,862
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,535	48,352	49,887	△49,887	—
計	2,857,231	115,518	2,972,750	△49,887	2,922,862
セグメント利益又は損失(△)	242,578	△12,479	230,098	5,236	235,335

(注) 1. 電子部品の地域別の内訳は下記のとおりであります。

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	調整額 (千円)	電子部品合計 (千円)
売上高						
外部顧客への売上高	1,255,357	1,494,620	105,717	2,855,695	—	2,855,695
地域間の内部売上高 又は振替高	1,273,835	1,132,371	—	2,406,206	△2,404,670	1,535
計	2,529,192	2,626,991	105,717	5,261,901	△2,404,670	2,857,231
地域別利益又は損失(△)	192,042	77,228	△2,817	266,452	△23,874	242,578

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

製品別販売実績

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)		前年同四半期比 (%)
	金額	構成比	金額	構成比	
電子部品		%	%	%	
前面操作ブロック (千円)	1,550,822	45.1	1,142,773	39.1	73.7
可変抵抗器 (千円)	684,531	19.9	579,355	19.8	84.6
固定抵抗器 (千円)	483,317	14.0	444,326	15.2	91.9
その他 (千円)	702,333	20.4	689,239	23.6	98.1
小計 (千円)	3,421,004	99.4	2,855,695	97.7	83.5
その他					
その他 (千円)	21,612	0.6	67,166	2.3	310.8
小計 (千円)	21,612	0.6	67,166	2.3	310.8
合計 (千円)	3,442,617	100.0	2,922,862	100.0	84.9